

広報ふたば



【表紙写真】

伝統をつなぐ思いと いわき市への感謝（ふたばダルマ市inなごそ）

東日本大震災から13年

「着実に復興の歩みを進める」

双葉町長 伊澤 史朗

町民の皆さまへ

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から3月11日で丸13年が経とうとしています。

令和6年の新しい年を迎えたばかりの元の午後、最大震度7の能登半島地震が発生し、大規模な災害に見舞われました。あれから2カ月が過ぎましたが、今もなお被災した多くの皆さまが不自由な生活を強いられています。長期にわたる避難生活を経験している私たちだからこそ余計にその大変さや辛さがわかります。被災された皆さまの心と体の健康と一日も早い復旧・復興を願わずにはられません。双葉町としては、石川県、富山県、石川県志賀町、輪島市、新潟県柏崎市、刈羽村にそれぞれお見舞金をお送りしました。その他、福島県と連携して職員の派遣を調整するとともに、ペットボトルの水などの支援助物の提供を予定しています。さらに本庁舎窓口や各支所に「令和6年能登半島地震災害義援金」の募金箱を設置して、来庁者や職員からのお見舞金をお送りすることとしています。

さて、双葉町は令和5年を復興の加速化元年と位置付けし、各種復興事業に取り組

んでまいりました。昨年1月には震災後初めて町内で双葉町ダルマ市を開催しました。2月には、双葉町診療所が開所し、11月からオンライン服薬指導実証事業も始まっております。5月には学校設置検討委員会を設置し、双葉町の学校教育のあり方や町内での学校再開時期等について検討を進め、本年3月末には教育基本構想がまとまります。7月にはJR双葉駅前でも来双葉会の主催により13年ぶりに「双葉町盆踊り」を開催していただき、懐かしい相馬盆唄が町内に響きわたりました。8月には町産業交流センター内にコンビニエンスストアがオープンし、町内での買い物環境が大きく改善しました。そして、地域の安心・安全を守るため消防団第1分団、第2分団屯所が落成しました。9月には帰還困難区域のうち「特定帰還居住区域」として下長塚・三字行政区の復興再生計画を申請し、内閣総理大臣の認定を受け、両行政区の一部で12月20日から、除染や建物解体が始まりました。また、新たな区域を追加するた

め国等との協議を進めているところであり、住民の皆さまからいただいたご意見を反映し、国に申請する予定です。引き続き、帰還困難区域全域の避難指示解除に向けて

粘り強く国に要望してまいります。10月には双葉町消防団秋季検閲式を震災後初めて町内で開催しました。

さらに、中野地区復興産業拠点では、4月に浅野燃糸(株)双葉事業所がグランドオープンし、6月には温浴施設と居酒屋を兼ね備えた「さくらの里双葉」がオープン。7月にはフレックスジャパン(株)「ひなた工房双葉」が開所。10月には不動産業の大和ライフネクス(株)と企業立地協定を締結。大和ライフネクス(株)は、令和7年度完成を目指して双葉町にカンファレンスホテルを建設します。現在23件の企業と企業立地協定を締結し、18社が操業を開始しております。

大震災から14年目となる辰年の今年も、努力してきたことが実を結んで成就する年と言われています。今後も復興まちづくり計画(第三次)の実現に向けて各種復興事業に取り組み、着実に復興の歩みを進め、引き続き町民の皆さまの生活再建に努めてまいります。

草木が芽吹き春の訪れが感じられるようになりましたが、三寒四温で寒暖の差が大きい日が続きます。また季節の変わり目ですので体調管理には十分気をつけてお過ごしください。よろしくお願いいたします。

双葉町は令和5年を復興の加速化元年と位置付けし、各種復興事業に取り組

んでまいりました。昨年1月には震災後初めて町内で双葉町ダルマ市を開催しました。2月には、双葉町診療所が開所し、11月からオンライン服薬指導実証事業も始まっております。5月には学校設置検討委員会を設置し、双葉町の学校教育のあり方や町内での学校再開時期等について検討を進め、本年3月末には教育基本構想がまとまります。7月にはJR双葉駅前でも来双葉会の主催により13年ぶりに「双葉町盆踊り」を開催していただき、懐かしい相馬盆唄が町内に響きわたりました。8月には町産業交流センター内にコンビニエンスストアがオープンし、町内での買い物環境が大きく改善しました。そして、地域の安心・安全を守るため消防団第1分団、第2分団屯所が落成しました。9月には帰還困難区域のうち「特定帰還居住区域」として下長塚・三字行政区の復興再生計画を申請し、内閣総理大臣の認定を受け、両行政区の一部で12月20日から、除染や建物解体が始まりました。また、新たな区域を追加するた

令和5年の主な動き

令和5年 (2023)	1月 4日	・東京電力ホールディングス(株)小早川智明代表執行役社長が双葉町役場を訪問。福島第一原子力発電所の廃炉、原子力損害賠償の完全実施及び復旧・復興への協力に関する要求書を提出。	
	1月 7日	・双葉町役場において双葉町はちを祝う会及び賀詞交換会を開催。	
	1月 7日 8日	・J R 双葉駅前広場において双葉町ダルマ市を開催。 震災後初めて町内で開催された。	
	1月 12日	・渡辺博道復興大臣が就任あいさつのため双葉町役場を訪問。要望書を手渡す。	
	1月 15日 ～ 22日	・友好都市推進事業に関する企画に伴う事前調査のためイギリス国ハル市、ビバリー町を訪問し、両首長と面会。ハル市内の学校、セラフィールドの廃炉を見学し、在英国日本国大使館、在英日本商工会議所などの訪問を行う。	
	1月 19日	・衆議院東日本大震災復興特別委員会が町内を視察。	
	1月 21日	・復興公営住宅勿来酒井団地内において夢ふたば人によるふたばダルマ市 in なこそが開催された。	
	2月 1日	・J R 双葉駅西側に整備を進めていた双葉町診療所の開所式を行う。	
	2月 13日	・参議院東日本大震災復興特別委員会が町内を視察。	
	2月 18日	・渡辺博道復興大臣が町内を視察。	
	2月 21日	・駅西住宅に県立郡山北工業高校と県立勿来工業高校の生徒が製作したテーブルが贈呈される。	
	3月 3日	・双葉町役場において双葉町復興町民委員会が開催される。	
	3月 4日	・双葉町役場において公明党の福島復興加速化会議が行われる。	
	3月 8日	・令和5年第一回双葉町議会定例会を開催し、伊澤町長が令和5年度における施政方針を述べる（16日まで9日間）。	
	3月 11日	・双葉町産業交流センターにおいて東日本大震災双葉町追悼献花式。献花場が設けられ太田房江経済産業副大臣も献花に訪れる。	
	3月 14日	・ランドポート(株)よりランタン200個が寄贈される。	
4月 18日	・自由民主党東日本大震災復興加速化本部が町内を視察。要望書を手渡す。		
4月 22日	・浅野燃糸(株)双葉事業所竣工記念式典、グランドオープンが行われた。		

令和5年
(2023)

4月	27日	・ フランス原子力安全委員会が町内を視察、双葉町役場で意見交換を行う。
4月	30日	・ 浜野地区の中野八幡神社で伊弉諾神宮(兵庫県)から寄贈された神輿のお披露目と「神輿巡行」が行われた。
5月	10日	・ IAEA(国際原子力機関)の専門家が双葉町役場を訪問、意見交換を行う。
5月	25日	・ 米澤光治福井県敦賀市長が町内を視察。
5月	29日	・ 双葉町役場において第1回双葉町学校設置検討委員会を開催。
6月	11日	・ (株)アルムシステムが整備した温浴施設と居酒屋「さくらの里双葉」のオープン内覧会・交流会が行われた。
6月	26日	・ 滋賀県長浜市を表敬訪問。伊澤町長は、「双葉町支援の会」解散にあたり会員の皆さまに御礼を述べ震災からの町の復興状況について講演を行った。
6月	29日	・ 渡辺博道復興大臣、竹谷とし子副大臣が町内を視察。
7月	6日	・ 防災行政無線を整備、運用開始。
7月	10日	・ 加藤千速三重県尾鷲市長が町内を視察。
7月	12日	・ 内堀雅雄福島県知事が町内を視察。特定帰還居住区域の除染範囲について意見交換を行う。
		
7月	15日	・ JR双葉駅前広場において未来双葉会による双葉町盆踊りが震災後初めて町内で開催された。
7月	24日	・ 原子力損害賠償紛争審査会が町内を視察。要望書を手渡す。
7月	26日	・ 国立大学法人大阪大学との連携協定を締結。 ・ フレックスジャパン(株)「ひなた工房双葉」の開所式。
7月	29日	・ 国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」が開催。双葉町から7騎が出陣。
7月	29日	・ 京丹波町・双葉町子ども交流事業のため、畠中源一京丹波町長、松本和久教育長、中高生など17名が双葉町を訪れ、相馬野馬追見学や双葉中学校生徒と交流を行う。(31日まで)
8月	3日	・ 双葉町産業交流センターにファミリーマートがオープン。
8月	5日	・ 双葉町消防団第1分団(新山)・第2分団(長塚)屯所が落成、貸与式を行う。
8月	25日	・ 大熊町と合同で、復興庁、経済産業省、環境省、自由民主党東日本大震災復興加速化本部に対し要望活動を行う。
8月	26日	・ 先行除染の対象地区である下長塚・三字行政区の住民への説明会を開催。 ・ 復興祈念公園予定地内において避難解除1年記念イベント「ただいま おかえり 双葉の夏」が行われた。
8月	27日	・ 双葉町産業交流センターにおいて「廃炉国際フォーラム」が開催された。
8月	31日	・ 福島県企業立地セミナー(東京都)が開催され、伊澤町長が中野地区復興産業拠点について説明を行った。

令和5年 (2023)	9月 15日	・ いわき市において双葉町敬老会を開催。	
	9月 17日	・ 西村康稔経済産業大臣が町内企業（浅野燃糸(株)）を視察。	
	9月 18日	・ 新山・秋葉神社竣工式、例大祭が行われた。	
	9月 21日	・ 土屋品子復興大臣、高木宏壽副大臣及び平木大作副大臣が就任あいさつのため双葉町役場を訪問。	
	9月 27日	・ 岩田和親経済産業副大臣兼内閣府副大臣・原子力災害現地対策本部長が就任あいさつのため双葉町役場を訪問。	
	9月 29日	・ 双葉町特定帰還居住区域復興再生計画が内閣総理大臣の認定を受ける。	
	9月 30日	・ 東日本大震災・原子力災害伝承館アーカイブ広場及び双葉町産業交流センターにおいて「ふたばスポーツフェスティバル2023」を開催。 震災後初めて町内で開催され、約130人が参加した。	
	10月 1日	・ 双葉町産業交流センターにおいて開館3周年記念イベント「双葉町ストリートパフォーマンスフェス」が行われた。	
	10月 8日	・ 双葉町産業交流センターにおいて福島県立双葉高等学校創立百年記念式典が開催された。	
	10月 11日	・ 土屋品子復興大臣、高木宏壽副大臣、平木大作副大臣が町内を視察。	
	10月 12日	・ 伊藤信太郎環境大臣、滝沢求副大臣、国定勇人環境大臣政務官が就任あいさつのため双葉町役場を訪問。 ・ 町政懇談会を開催（10月25日まで県内外11カ所。説明事項：特定帰還居住区域復興再生計画等について）	
	10月 21日	・ JR双葉駅前広場で双葉町消防団秋季検閲式を行う。震災後初めて町内で開催。	
	10月 31日	・ 大和ライフネクスト(株)と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結。	
	11月 3日	・ 双葉町役場において令和5年度双葉町表彰式を挙行。 ・ ランドポート(株)よりランタン200個が寄贈される。	
	11月 16日	・ 第75回都市計画全国大会（郡山市）が開催され、第38回都市計画協会会長賞特別賞を受賞（双葉町のまちづくりへの取り組み）、伊澤町長が表彰式に出席した。	
	12月 1日	・ 双葉町役場において富士フィルムシステムサービス(株)と郵送請求キャッシュレスサービス開始に伴う調印式が行われた。	
12月 9日	・ 吉田宜弘経済産業大臣政務官が町内を視察。		
12月 13日	・ 東日本ロハス(株)と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結。		
12月 20日	・ 町内の特定帰還居住区域（下長塚・三字行政区の一部）で除染開始。		
12月 28日	・ 齋藤健経済産業大臣が就任あいさつのため双葉町役場を訪問。		

帰還困難区域を抱える町村の協議会要望活動

2月7日、原発事故による帰還困難区域を抱える町村の協議会（浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、葛尾村）による要望活動が行われ、伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長は各町村長・議会議長とともに、復興庁、経済産業省、環境省、自由民主党東日本大震災復興加速化本部に対し、要望を行いました。

帰還困難区域の全ての避難指示解除に向け町村の実態に寄り添い、国の責務として総力を挙げて対応いただくよう強く要望しました。主な要望項目は以下のとおりです。

- ① 帰還困難区域の避難指示解除に向けた取組の実施
- ② 残された土地・家屋に対する方針の明示
- ③ 住民への生活支援の継続



復興庁



自由民主党東日本大震災復興加速化本部

東北大学と連携協定を締結

1月19日、双葉町と東北大学グリーン未来創造機構は、連携・協力し、地域の様々な課題に対応し、震災と原子力災害からの復興・地域の活性化を図ることを目的とした包括連携協定を締結しました。

伊澤町長は「東北大学には協定締結前から様々な形で双葉町の復興を支援していただいておりますが、ますます連携を密にし、町の復興が飛躍的に進むことを期待しています」と述べ、湯上浩雄機構長と、協定書に署名を行いました。

今後協定に基づき、まちづくりと人材育成、地域営農再開の実現などに向けた取り組みが行われます。



株式会社エイブルと企業立地協定を締結

2月6日、双葉町役場において株式会社エイブルと中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結しました。中野地区復興産業拠点における企業との立地協定の締結は23件となりました。

株式会社エイブルでは、整備する1.5ヘクタールの事業所を、ロボットの研究開発と展示のための拠点施設と位置付け、災害時の一時避難場所を想定とした防災シェルターの整備など様々な取り組みを展開する予定です。



株式会社エイブル

- 所在地（本社）… 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字中央台551番地6
- 設立… 1991年3月14日
- 代表者… 代表取締役 佐藤 順英
- 事業… 廃炉用遠隔操作ロボット、産業用省人化ロボットの開発、製造、展示及び風力・波力発電などの再生可能エネルギーの開発など。

「スカイリンクハンガー福島」が開業

1月22日、株式会社 WorldLink&Company（ワールドリンクアンドカンパニー）が、中野地区復興産業拠点に建設した福島サービスセンター「スカイリンクハンガー福島」が開業し、内覧会が行われました。

スカイリンクハンガー福島は、「ドローンの総合サポート拠点」と位置付けられ、ドローンの修理やメンテナンスを行う事務所と工場、保管倉庫のほかテスト飛行を行う敷地を備えています。

内覧会に参加した伊澤町長は、施設を見学し、「非常に将来有望な企業が双葉町に来てくれたと大いに期待しています」と述べました。

今後はドローン教室などの実施も検討しているとのことと、須田信也社長は「福島への復興に貢献し、地域の方に愛されるような施設を目指していきたい」と述べました。

株式会社 WorldLink & Company（ワールドリンクアンドカンパニー）
スカイリンクハンガー福島
所在地：双葉町大字中野字塚ノ前3-1



ふたばダルマ市 in なこそ

1月27日、いわき市勿来酒井復興公営住宅地内にて、「ふたばダルマ市 in なこそ」が開催されました。主催した町民有志の会 夢ふたば人（中谷祥久会長）は、東日本大震災後の平成24年1月にいわき市の南台仮設住宅でダルマ市を開催し、町民同士の再会の場とするとともに、町の新春の恒例行事の伝統をつなぐことを目的とし、以来12回開催してきました。昨年からは町内でダルマ市が開催されるようになったことから、いわき市での開催は今年が最後となりました。

開会式では、中谷会長と来賓の伊澤町長、伊藤町議会議長があいさつし、いわき市への感謝の言葉を述べました。

会場には双葉ダルマのほか双葉町商工会女性部、青年部等による飲食や、ハンドメイド雑貨の販売、キッチンカーの出店がありました。ステージでは、ものまね・歌謡ショー、いわき市の山田美風太鼓の演奏や大道芸が行われ、勿来酒井団地や地元住民など多くの方々を楽しませたほか、ダルマ市恒例の巨大ダルマ引きには大勢の人が参加して大盛況でした。



巨大ダルマ引き



ステージイベント



双葉郵便局が移転・再開します

双葉郵便局が3月7日(木)から、場所を移転して営業を再開します。

町役場、JR双葉駅に近い利便性の良い場所での営業再開となりますので、未永くご愛顧いただきますようお願いいたします。

◆住所 〒979-1471
双葉町大字長塚字鬼木34
(旧東邦銀行双葉支店隣)

◆電話番号 0240-33-2222

◆営業時間



	平日	土曜日	日曜日・休日
郵便窓口	9:00～17:00	お取り扱いしません	お取り扱いしません
貯金・保険窓口	9:00～16:00	お取り扱いしません	お取り扱いしません
ATM	8:45～18:00	9:00～17:00	9:00～15:00

山田行政区総会・交流会のお知らせ

令和6年山田行政区総会・交流会を下記のとおり開催いたしますので、たくさんの方々の参加をお願いいたします。

◆開催日時：4月6日(土)～7日(日)
総会…午後3時
交流会…午後6時

◆開催場所：いわき湯本温泉「吹の湯」
(いわき市常磐湯本町吹谷48)
☎0246-42-2158

◆会費：10,000円(1泊2食)
総会・交流会のみ参加 5,000円

◆申し込み締め切り：3月10日(日)

【申し込み・問い合わせ先】

箭内 充 ☎090-3757-3151

郡山行政区総会・懇親会のお知らせ

下記日程にて開催しますので、多数の参加をお願いいたします。なお、出欠については別途通知します。

◆開催日時：4月13日(土)
総会…午後3時
懇親会…午後6時

◆開催場所：いわき湯本温泉「吹の湯」
(いわき市常磐湯本町吹谷48)
☎0246-42-2158

◆会費：1人 5,000円(宿泊費を含む)
総会のみ参加は無料

【問い合わせ先】

大須賀 ☎090-4639-5881

鈴木 ☎090-9635-2062

町立学校で募金活動

1月29日、町立小中学校の児童会・生徒会は、能登半島地震の募金活動を実施し、集まった65,100円を、日本赤十字社を通じて被災地へ送りました。

能登半島の被害状況を見て、同じような境遇にあった自分たちが何かできないかと考え、チラシや募金箱を作り1月23日から25日までの3日間、登校時の昇降口や幼稚園で募金を呼びかけました。

チラシに書かれたキャッチコピー「能登半島地震で被災した人たちにぼくらの思いを届けよう!!」は6年生が考えました。



▲児童会・生徒会の皆さん



▲募金の様子

※町立学校のブログでも紹介しています。



町立小学校ブログ
QRコード



町立中学校ブログ
QRコード

第4回学校設置検討委員会

1月30日、双葉町いわき支所において第4回双葉町学校設置検討委員会（大塚類委員長）が開催されました。

委員会では、町内に整備する教育施設の基本構想策定のための議論が行われ、保護者や一般の方からのアンケート結果や委員から出された意見をもとに、基本構想に盛り込む内容、スケジュールなどを議論、精査しました。今後決定する基本構想をもとに、新年度より基本計画の策定を予定しています。



復興支援員紹介



双葉町復興支援員
染谷 宝奈

2月1日から双葉町復興支援員になりました、染谷宝奈（そめやとみな）と申します。

双葉町の広報、コミュニティ支援を担当いたします。

私は会津若松市出身で、震災当時は高校生でした。それから10年後の2021年3月11日に東日本大震災・原子力災害伝承館に行き、はじめて双葉町を訪れました。その時に、10年経つても震災時からふるさととの時間が止まったままの方々がまだ沢山いることを目の当たりにし、震災をもっと自分事としたい、福島県民としてなにか復興に繋がるような仕事に携わりたいと考えるようになりました。それから準備期間を経て、復興支援員となることができました。

復興支援という形だけでなく、纯粹に双葉町の魅力を正しく発信し、町民の皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

町民交流施設ふたばーく移転のお知らせ

4月1日より、町民交流施設ふたばーくがいわき市東田町に移転します。

新しい町民交流施設には専用駐車場が建物正面3台、建物裏側に2台ありますが、近隣の双葉町いわき支所第1駐車場及び第3駐車場もご利用いただけます。



●開所時間 平日 午前9時～午後4時（土・日、祝日及び年末年始は除く）
上記開所日以外のご利用については、住民生活課（いわき支所）までお問い合わせください。

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目18-5 丸忠ビル1階 ☎0246-84-9560
双葉町いわき支所より徒歩約2分程度
リサイクル店隣、白色のビルの一室です。

【問い合わせ先】 住民生活課（いわき支所） ☎0246-84-5200（代）

東日本大震災双葉町追悼献花場設置のお知らせ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々への哀悼の気持ちをささげていただけるよう、以下のとおり追悼献花場を設置いたします。

- 日時** 3月11日（月） 午前9時から午後4時まで
- 会場** 双葉町産業交流センター 大会議室（双葉町大字中野字高田1番地1）
- 内容** ご遺族の方々をはじめ、多くの方々により会場内に設置した祭壇への自由献花
- その他** 当日午後2時46分に、会場内にて黙とうをささげます。
ご供花、ご供物、ご香典等は辞退申し上げます。

会場内ではインフルエンザ等感染症拡大予防のための対策に取り組みますので、ご来場される皆さまにおかれましても、感染症対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎0240-33-0126

医療費一部負担金等免除証明書について

【双葉町国民健康保険および後期高齢者医療保険にご加入の方】

国民健康保険と後期高齢者医療保険にご加入で、現在免除証明書をお持ちの方へ、有効期限が令和6年7月31日までの免除証明書を避難先住所へ2月下旬に送付いたしました。

3月1日以降は今回送付した免除証明書を医療機関窓口で保険証等と一緒に提示してください。免除証明書の提示がない場合や有効期限が切れた免除証明書、被災証明書を提示した場合には、医療費一部負担金の免除を受けることはできませんので、ご注意ください。

免除証明書の色と大きさは下記のとおりです。

健康保険の種類	色	大きさ
双葉町国民健康保険	オレンジ色	保険証と同じ大きさ（縦5.5cm×横8.6cm）
後期高齢者医療保険	空色	A4用紙（縦29.7cm×横21cm）

※入院時食事療養費、入院時生活療養費の自己負担分および柔道整復（接骨院等）・あん摩・マッサージ・はり・きゅう師等の施術費、治療用装具費は免除の対象ではありませんので、自己負担金が発生します。また、保険外診療分についても自己負担金が必要となります。

双葉町国民健康保険被保険者証の更新について

【双葉町国民健康保険にご加入の方】

令和6年度の双葉町国民健康保険被保険者証（以下：保険証）を3月下旬に簡易書留郵便にて住所（3月1日時点登録されている避難先住所）へ個人あてに送付いたします。同じ避難先でも、郵便事情により配達日が数日前後することがあります。

保険証の配達時にご不在の場合は、郵便局に1週間程度保管されます。保管期間内に郵便局へ再配達を依頼し、お受け取りください。

なお、3月下旬の発送は保険証のみとなり、免除証明書は同封されませんので、ご注意ください。免除証明書は2月に送付したものをご使用ください。

有効期限が切れた保険証は、自己責任のもと破棄していただくか、健康福祉課までご返却ください。

【後期高齢者医療保険にご加入の方】

保険証の有効期限は7月末となりますので、3月下旬の発送はありません。保険証の更新については、広報紙等でお知らせいたします。

【問い合わせ先】 健康福祉課 国保年金係 ☎ 0240-33-0131

* 介護保険利用者負担額減額・免除認定証について *

介護保険利用者負担額減額・免除認定証（有効期限：令和6年7月31日）を介護保険サービス利用者の皆さまへ送付いたしました。3月1日以降は今回送付した介護保険利用者負担額減額・免除認定証を介護保険サービス事業者へ提示ください。

介護保険利用者負担額減額・免除認定証の色と大きさは下記のとおりです。

名称	色	大きさ
介護保険利用者負担額減額・免除認定証	黄色	介護保険負担割合証と同じ大きさ（縦12.7cm×横18.4cm）

【問い合わせ先】 健康福祉課 福祉介護係 ☎ 0240-33-0131

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

令和6年も早2カ月が過ぎました。双葉町の子どもたち、幼児84人、小学生215人、中学生125人 合計424人(令和5年10月1日現在)が、福島県内および全国各地において学校生活を送り、勉学に運動に励んでおります。

2月号でも触れましたが、元日に発生した能登半島地震から2カ月が過ぎます。しかし、まだまだ厳しい避難生活が続いている様子が報道され心が痛みます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

● 双葉町立双葉南小学校・双葉北小学校 創立150周年

2月20日、双葉町立学校仮設校舎の体育館において創立150周年を祝う会が開催されました。明治6年、学制を受けて双葉南小学校が前田小学校、双葉北小学校が日新小学校として正式に発足し、その後は戦前、戦後と激動の社会の中、保護者や地域の皆さまとともに、小学校教育の大きな変遷において児童の健やかな成長と輝かしい伝統を築き上げてきました。改めて両校が創立150周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。振り返れば平成23年3月11日、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により、全町避難を強いられ町立学校も3年間休業状態となりましたが、平成26年4月にいわき市錦町において再開することができました。同年8月には幼稚園、南小、北小そして中学校を同一敷地に仮設校舎が完成し10年を迎えます。このように教育活動を継続できたのも、歴代校長先生をはじめ熱心な多くの先生方のご尽力の賜物と感謝と御礼を申し上げます。



▲ 双葉南小学校



▲ 双葉北小学校

● 生徒海外派遣団の結団式

2月20日、双葉町立学校仮設校舎の体育館において、伊澤町長をはじめ、伊藤町議会議長出席のもと双葉町生徒海外派遣団結団式を開催しました。代表生徒5名は、3月15日から3月20日まで、ロンドンを中心に異文化交流、海外研修を行います。1年前に訪問・視察を行ったハル市にある教育施設「ブルーバードアカデミー」の生徒の皆さんと交流する計画をしています。

また、派遣団として同行する英語指導助手(ALT)の出身地であるイギリスのハル市とビバリー町を表敬訪問し、それぞれの自治体とこれからの文化等の交流を進めるための「覚書」を交わすこととしております。海外派遣事業の成果については、改めて報告したいと思います。

● 卒園・卒業に向けて

学校では、一年間のまとめと次年度への準備のため、教育活動の細かな計画について最終調整に入り、学習面、生活面の総まとめに取り組んでおります。

この3月に卒園・卒業を迎える園児、児童、生徒の皆さんの前途に幸多からんことをお祈り申し上げます。そして、今後とも応援してまいります。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

..... 教育総務課からのお知らせです

令和6年度 双葉町奨学生募集

— 令和6年度の双葉町奨学生を次により募集します —

◇申し込み資格

- ・高等学校（高等専門学校を含む）、専修学校、大学、大学院に在学する者または令和6年度入学予定者。
※職業能力開発促進法に基づく学校等を含む。
- ・経済的理由により修学困難と認められること。
- ・国、県またはほかの団体から同種類の奨学資金の貸与または給与を受けていないこと。

◇貸与期間

在学校の正規の修業期間

◇貸与額（月額）

- ・高等学校（高等専門学校を含む）… 15,000円
- ・専修学校 …… 20,000円
- ・国、公立大学 …… 35,000円
- ・私立大学 …… 40,000円
- ・大学院 …… 40,000円

◇返還の方法

- ・卒業月の6カ月後から10年以内に、奨学資金の全額を半年賦で返還していただきます。希望により一括返還することもできます。
- ・利子は無利子です。

◇申し込み手続き

・申込受付期間

4月1日(月) から5月10日(金) まで
ただし、家計の急変等により緊急に奨学資金を必要とする場合は、受付期間を過ぎても採用しますので、双葉町教育委員会教育総務課までご相談ください。

・申請書の提出場所

双葉町教育委員会 教育総務課

※郵送での受け付けも行います。

※申し込みを希望される方は、3月1日(金)から双葉町教育委員会教育総務課において申請書類を交付します。また、電話での依頼により申請書類の郵送も行いますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

令和6年度 双葉町児童・生徒への就学援助について

双葉町に住所を有している方で、避難先の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者に対し、義務教育を円滑に実施できるよう、学校給食費や学用品費等の経費の一部援助を行います。

就学援助の申請は、原発避難者特例法により原則として避難先自治体で実施することになっていきますので、希望される方は避難先の市区町村教育委員会、または現在通学している学校へご相談ください。

避難先市区町村で就学援助の対象者に認定されなかった場合は、双葉町教育委員会教育総務課にお申し出ください。（避難先の市区町村との重複受給はできません）

令和5年度に双葉町から支援を受けていた児童・生徒および令和6年度新入学児童・生徒については5月下旬頃に、申請書等関係書類を送付します。



【問い合わせ先】

〒974-8212 いわき市東田町二丁目19-4 双葉町いわき支所内

双葉町教育委員会 教育総務課

☎ 0246-84-5210 FAX 0246-84-5212

電子メール kyouiku@town.futaba.fukushima.jp



ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での園児たちの日常の様子をお知らせします。



初詣



幼稚園の隣にある「熊野神社」に今年も初詣に行ってきました。出発する前に、毎日、幼稚園のみんなを見守っている神社に、ごあいさつと今年の健康と安全をお願いする話をしました。神社に着くと「違う神社だけど、お正月に行ったよ!」「おみくじひいたよ!」など、お正月に出かけたことを思い出して、たくさん話をしていました。みんなで熊野神社のお参りの仕方を確認し、二礼・二拍手・一礼、本坪鈴（お参りするとき鳴らす鈴）を鳴らし、お参りをして、今年も元気に過ごしたいと思います。

福島大学の皆さんに来園いただき「五感で感じる音楽」という目的で、様々な楽器に触れました。子どもたちは、太鼓や木琴などは見たことがあります。色々な国の見たことのない楽器に、興味津々でした。鳴らし方がわからない楽器は、「どうやってやるんですか?」と聞きに行き、一緒に鳴らしながら、音楽に合わせて体を動かしたり、歌ったりしながら楽しむことができました。最後にジャンボリーミッキーの曲に合わせて、タンバリンを鳴らし踊りながら、体で音楽の楽しさを感じていました。

五感を感じる音楽



【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎ 0246-88-8084 **子育てサロン実施中です!**

お知らせ レスキュー 町内から救出した古文書の整理作業をします

双葉町教育委員会では、筑波大学、ふくしま史料ネット、茨城史料ネットとの連携・協力により、町内の家屋等から救出・保全してきた古文書の整理作業を平成27年度から行ってきました。

町民の皆さまも作業への参加・見学が可能です。興味のある方は、教育委員会生涯学習課までご連絡ください。

※感染症の流行等により、作業が中止になることもありますので、御了承ください。



- 日 時 … 3月24日(日) 10時00分～16時30分 ※半日参加も可
 - 場 所 … 双葉町産業交流センター(双葉町大字中野字高田1番地1)
 - 作業内容 … 古文書のクリーニング、保存容器への古文書の収納、目録データの記述、写真撮影等
 - 申込締切 … 3月15日(金)まで
 - 申 込 先 … 双葉町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0240-33-0206
- ※定員は20名程度となっておりますので、お早めの申し込みをお願いいたします。

ふるさと双葉の歴史・文化 第3回 海の家・マリンハウスふたば

町の海岸沿い、帰還困難区域（中間貯蔵施設区域内）に、白くてピラミッドのような形をした、ひときわ目を引く建物があります。マリンハウスふたば。東日本大震災以前、海水浴客やキャンプ場の利用者でにぎわっていた双葉海水浴場・同海浜公園を象徴する建物でした。

マリンハウスふたばは、双葉海水浴場の海の家としては二代目になります。最初の海の家は、1964年（昭和39年）に建設されました。木造の平屋建てで、建物内は板の間になっており、そこで休憩できるようになっていました。

マリンハウスふたばが建設されたのは1987年（昭和62年）のことです。鉄筋コンクリート造りの4階建てで、2階がシャワー室、3階が休憩室となっており、4階は展望テラスになっていました。双葉海水浴場は、環境省による『快水浴場100選』に選ばれるなど、福島県内でも指折りの海水浴場で、海の家であるマリンハウスふたばは、海水浴場とともに町のシンボルでもありました。

2011年（平成23年）3月11日に発生した10メートルを超える津波によって、マリンハウスふたばも被災しました。津波は3階まで到達し、その痕跡は今も残っています。



▲観光パンフレットに掲載されたマリンハウスふたばと双葉海水浴場



▲初代海の家



▲津波の痕跡（丸の範囲）

CKDを知っていますか

CKDとは「慢性腎臓病」のことで、主に糖尿病や高血圧などの生活習慣病の悪化により発症し、放置したままにしておくと人工透析や腎移植に至る病気です。成人の8人に1人がかかっていると言われています。

◆定期的に健診を受けましょう。

CKDの初期には自覚症状がほとんどありません。このため、定期的に健診を受けて、尿検査や血液検査をすることが早期発見につながります。また、健診で異常が見つかったら必ず受診しましょう。

尿検査 腎臓に障害があると血液中のたんぱく質が尿に漏れ出します。尿中のたんぱく量を測定することで、腎臓の状態が分かります。

血液検査 血液中にある老廃物の一種の血清クレアチニンは通常であれば尿へ排出されますが、腎臓の働きが悪くなると、尿中に排出されずに血液中に溜まっていきます。血清クレアチニン値が高いということは腎機能が低下していると判断できます。

◆CKDが進行すると現れる症状

CKDが進行すると夜間の頻尿、むくみ、貧血、身体のだるさ、息切れなどの症状が現れます。気になる症状があれば、かかりつけ医に相談しましょう。

◆CKDの予防

CKDを防ぐためには、塩分を控えめにしたバランスのとれた適量の食事と適度な運動などにより、生活習慣病を予防・改善することが重要です。また、日頃から禁煙、適切な飲酒、休息をしっかりとるなどの適切な生活習慣を身につけることが大切です。生活習慣病で治療中の方は、治療を継続するとともに、かかりつけ医等に相談しながら生活習慣の改善に努めましょう。

参考：日本腎臓協会ホームページ、作成：福島県保健福祉部健康づくり推進課

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0240-33-0131

★ メタボ・減塩対策 ★ ヘルシーレシピ

「令和5年度栄養教室」で行った調理実習のうちの1品をご紹介します。
ぜひご家庭でも作ってみてください！

『具だくさんの根菜汁』

(1人あたり栄養価：60kcal たんぱく質：3.5g
脂質：1.9g 食塩相当：0.9g)

【材料】	【分量(2人分)】
かぼちゃ……………	60g
にんじん……………	30g
大根……………	40g
大根葉……………	20g
えのき……………	20g
しいたけ……………	20g
油揚げ……………	10g
だし汁(★)……………	320ml
酒……………	10g(小さじ2)
しょうゆ……………	10g(小さじ2弱)



作り方

- ① かぼちゃは、一口大に切り、にんじん・大根は、厚さ0.5cmいちょう切り、大根葉と油揚げは食べやすい大きさに切る。
- ② えのき、しいたけは石づきを取って、食べやすい大きさに切る。
- ③ 鍋にだし汁(★)、酒、かぼちゃ、大根を加えて火が通ったら、大根葉、えのき、しいたけ、油揚げを加えて、ひと煮立ちする。
- ④ 最後にしょうゆを加えて、器に盛り付けて完成。

【だしの保存について】
だし素材は、必ず取り出し、冷蔵庫で保存。継足しはせず、3～4日以内に使い切りましょう。
※2日経つと風味も落ちてきます。

(★) かつおとこんぶの合わせだし(だし1,000ml作る場合)

【材料】	【作り方】
かつお節…20g	① 水が入った耐熱ボウルに、昆布とかつお節を先に入れておく。
昆布……………約5cm角×2枚	② ボウルにラップをかけて、500Wで3分加熱する。
水……………1,000ml	③ 加熱が終わったら、3分ほど置き、だしを抽出させる。
	④ 別ボウルにキッチンペーパーとザルを使って③をこし軽く絞る。



調理ポイント

- ❖ 火加減は、最初から中弱火で煮ることで、根菜からうま味が出ます。
- ❖ 昆布についている白い粉は、うまみ成分のため拭き取らないようにしましょう。
- ❖ 昆布を水に入れておくことでだしが出やすいです。

- ◎ 1日の塩分摂取基準量は、男性で7.5g未満、女性6.5g未満です。
- ◎ だしや野菜の旨味を活用して、おいしく減塩を取り入れましょう!!

毎年3月は自殺対策強化月間です

～ “死にたい” という心の声(想い)に耳を傾けましょう～

● 自殺は他人事ではない

令和3年に厚生労働省が実施した意識調査では「これまでの人生の中で、本気で自殺したいと考えたことがあるか」という質問に対し、回答者の約4人に1人(2,009人中547人)が「自殺を考えたことがある」という結果になりました。また最近では、新型コロナウイルスの影響により仕事や人間関係など様々な悩みやストレスを抱える人が増え、さらに自殺のリスクが高まるのが危惧されます。大切な人を失わないために、できることから始めてみませんか。

● 人が死にたい気持ちになるのは、どんなとき？

人が死にたい気持ちになるのは、“自分の居場所がどこにもない” “誰からも必要とされていない” “みんなに迷惑をかけている” と感じたときだといわれています。死にたい気持ちを抱えている人は、このつらい気持ちが少しでも和らぐならば、あるいは、いま抱えている問題が解決するならば、本当は“生きたい”と考えているはずです。周りに、そのような悩みを抱えた人がいたら、あなたはどのように接しますか。

● 接し方の原則

ここでは、接し方の原則をご紹介します。

話しかける

体調のことを切り口にひと声かけてみましょう。
例:「疲れていませんか?」、「最近、眠れていますか?」

素直に尋ねる

自殺の危険を感じたら、そのことを率直に尋ねてみましょう。
例:「もしかして、死んでしまいたいなど考えていませんか?」

傾聴する

人は理解してもらえたと思うだけで気持ちが軽くなるものです。
例:「ゆっくり話を聴かせてもらえますか。」、「つらかったですね。」

安全を確保する

危険と感じたら、ひとりにせず、傍にいて寄り添いましょう。
その上で、抱え込まず、相談機関に援助を求めましょう。

あなたの声かけが、誰かの命をつなぎとめるきっかけになるかもしれません。身近に、気になる人がいましたら、ぜひ話しかけ、その人の話を聴いていただけたら幸いです。それこそが、自殺予防の大切な取り組みなのです。

【電話による相談窓口】 Fukushima心のケアセンター被災者相談フリーダイヤル

“ふくここライン” 0120-783-295 (平日9:00～12:00、13:00～17:00)

双葉町社会福祉協議会

～ 3月 健康運動教室・サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会場	開催日	時間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか ※祝日を除く	13:30～15:00	郡山事務所 ☎024-973-5291
福島市老人福祉センター2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	3月12日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日 ※祝日を除く		南相馬出張所 ☎080-5730-1166

● 社協サロン

会場	開催日	時間	問い合わせ・申込先
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田1-1)	3月21日(木)	10:30～12:00	双葉町地域包括支援センター ☎0246-84-6729
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	3月26日(火)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291

*** 双葉町産業交流センターの3.11 追悼関連行事 ***

1 3.11 特別企画展「ふたば、ふたたび☆想いをつなぐ写真展2024」

開催日時：3月1日（金）～3月31日（日）
 開催場所：双葉町産業交流センター 1階エントランス ホール
 内 容：震災前の双葉町や、復興が少しずつ進んでいる様子が分かる写真の展示

2 インフィオラータ（花絵）と声優によるありがとうメッセージの朗読

- ・インフィオラータ（花絵）展示
 開催日時：3月10日（日）、11日（月）
 開催場所：双葉町産業交流センター 1階エントランス
- ・ありがとうメッセージ朗読
 開催日時：3月10日（日） 午前・午後 各1回
 開催場所：双葉町産業交流センター 1階エントランス

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域（下長塚行政区、三字行政区のそれぞれの一部）の建物解体の申請を受付けています。解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にご相談ください。
 ※旧特定復興再生拠点区域の解体申請は2023年8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター（2023年度環境省業務受託業者）

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟（双葉町いわき支所の隣）
 <受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日及び年末年始を除く）
 <連絡先> ☎0120-773-275（フリーダイヤル）

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

➤ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。3月は、15日（金）、16日（土）を予定しています。
 見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
 ・令和5年度は、24,582㎡搬入しています。（平成27年からの累計は3,923,266㎡） ※1月31日現在
 ➤ 3月16日（土）～3月24日（日）は輸送を休止いたします。

◇ 放射線モニタリングについて

➤ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
 ➤ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293

消防署からのお知らせ

令和6年1月1日16時10分に石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7が観測される地震が発生し、今もなお避難を余儀なくされている方がおります。日本のどこでも地震などの自然災害が発生する可能性がありますので、今一度、災害への備えを確認してください！



1 自宅の耐震性

昭和56年5月までに建築確認された建物は耐震性に問題がある可能性が高いとされているので、補強などを検討すること。

2 家具や家電製品の固定化

- ①大きい家具や家電製品などは転倒防止器具や粘着マット等を使って転倒防止を行うこと。
- ②ガラスが割れても飛び散らないようにするためガラス飛散防止フィルムを貼ること。

3 備蓄品の準備

最低1週間分の家族全員が生活できるよう備蓄すること。

4 避難所の確認

避難所までの危険箇所を把握し避難するルートを事前に確認すること。

5 地震が収まったら

- ①火の元を確認し、ガスの元栓を締めること。
- ②停電から復旧し通電された際に、通電火災を防止するため、避難する場合は、ブレーカーを落とすこと。

春季全国火災予防運動が始まります！

今回の地震により、輪島市で発生した建物火災は、建物倒壊や火気器具の転倒、電気火災などのなんらかの原因により、火災が発生しました。

現場は津波警報が発令していたため住民は避難を行い、木造住宅密集地であったこと、道路の陥没や断水で悪条件が重なったことで1棟からの出火が200棟以上の建物を焼失する大規模火災となりました。

3月1日から7日まで春季火災予防運動週間となります。空気の乾燥する日が多く、例年、火災が起りやすい時季が続きますので、火災を起こさないように一人一人の心がけで、大切な命と財産を守りましょう。

火事と救急は119番 <消防署連絡先> ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
 ・葛尾出張所 ☎0240-29-2119

双葉警察署からのお知らせ

双葉警察署：富岡町中央二丁目19 ☎0240-22-2121

警察官、警察事務職員募集中

令和6年度 福島県警察採用日程（予定）

区分	受付期間	第一次試験日	試験地	第一次合格発表日	第二次試験日	試験地	第二次合格発表日
警察官A (大学卒業程度)	3月 1日 ? 4月 5日	5月19日	福島市内 東京都内	6月 5日	6月28日 ? 7月 3日	福島県 警察学校	8月20日

双葉ふれあいクラブからのお知らせ

令和5年度 双葉町民ボウリング大会

- 日程… 3月23日(土)
受付開始：12時15分～
ゲームスタート：12時45分～
- 場所… ボウリング王国スポーツ平店
いわき市平正月町61-3
☎0246-22-1614
- 参加費… 500円
- 対象者… 小学生以上の方
- 競技方法… 1人2ゲームトータル ヨーロッパ方式
ハンディキャップ制
- 表彰… 1～3位
参加者全員に賞品があります。
- 申込締切… 3月15日(金)
電話かFAXにてお申し込みください。
- その他… 保険については、双葉ふれあいクラブ
で加入しているイベント共済が適用され
ますが、それ以上の補償はありません
のでご了承ください。
- 申し込み・問い合わせ先
双葉ふれあいクラブ ☎：090-7320-1286
FAX：0248-21-6188

初心者の方もお気軽にご参加ください!



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

働きたいネットの就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】

参加無料・予約不要

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます！就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。是非お越しください。

日時 3月13日(水) 9:00～12:00

場所 ハローワーク富岡 2階 会議室

支援メニュー

- ・証明写真撮影 ※撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ！
貸出用ジャケット有
- ・応募書類作成 ・面接対策 ・適職診断 等



【求職者向け】職場体験実習 参加者大募集！

仕事のプランクがあり、就職活動に不安がある、未経験の職種にチャレンジしてみたいけど自分に合うかわからない…。そんな方へ、さまざまな業種の中から、興味のあるお仕事を体験できるチャンスです！
仕事の内容を知ると、働くイメージがわき、不安が自信に変わります！是非お気軽にお問合せください。

※お申し込み随時受付中！

- 体験期間… 1～3日
- 体験先… 職場体験実習登録事業所（県内500ヵ所以上！）
- 体験内容… 事業説明、簡単な業務体験、質疑応答など
- 参加方法… ホームページから申込、詳細はホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口（福島市中町4番20号 みんゆうビル202号）
☎024-524-2121 FAX 024-524-2125



広報ふたば令和6年2月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

人の動き 12月分（31ページ）

明間 英子さん

死亡日

誤 12月27日



正 11月27日



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

県南双樹会新年会

1月25日、石川町母畑温泉八幡屋において新年会を開催しました。

当日は、八幡屋からの送迎バスに乗って自治会事務所を出発し、到着後12時から会長挨拶、副会長の乾杯の音頭で食事をしました。食後は入浴や談話などをして過ごし、記念撮影を行い帰路につきました。

県南双樹会では初めて新年会を実施しましたが、来年も開催しようとバスの中でみんな話しながら帰りました。

会長 館林 孝男



【文芸】

短歌・早朝に 近隣火災 消防車

全力消火も おなし全焼

水害や 地震は天災 防げない

火事は防げる 火の元用心

卒寿すぎ 老いたる母を 案じしか

週一回の 娘の電響く

里謡・卒寿すぎても 手職は嬉し針を運んで

余生かな

川柳・一月は 亡息子の命日や 六つの花(雪)

今泉 禮子(長塚二)

駅西住宅で「朝カフェの会 in ふたば」

双葉町に暮らす人、働く人、興味のある人が、ざっくばらんにお話できる機会を作りたいと、昨年11月から始めた「朝カフェの会 in ふたば」は毎月1回、月曜の朝7時半～9時、駅西住宅集会所で開催しています。

双葉郡で活動するバリスタのハンドドリップコーヒーに、双葉郡ゆかりのスイーツを楽しみながら、自由に会話する空間。町に関わりを持つ人が、毎回30人くらい集まっています。

じっくりお話してもいいし、コーヒーを持ってそのまま仕事に行ってもいい。双葉町に関わるきっかけになればいいなと思っています。

開催日は双葉駅舎にチラシを掲示するほか、双葉町のX(旧Twitter)でお知らせします。ぜひご参加ください。



山根 麻衣子(長塚一 駅西住宅在住)

人のうごき1月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
杉田 綾	10月3日	利文・千明	三字
及川 藍	1月8日	泰良・莉穂	長塚一
成田 昴	1月13日	翼牙・みどり	新山

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
石田 勲	95	1月2日	寺松
池崎 泰	87	1月5日	三字
大田フサ子	82	1月5日	下条
大槻 クニ	93	1月9日	下長塚
成田 昇平	34	1月18日	新山
井戸川久子	96	1月22日	中田

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。
なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課
☎ 0240-33-0125

双葉町民の避難状況 (令和6年2月1日現在)

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

・福島県内に避難されている方 3,841人

・福島県外に避難されている方 2,695人

今月のベストスマイル



町立学校の豆まきで豆をまいた年女の5年生児童4人の笑顔です。



― 編集後記 ―

町民有志の団体である夢ふたば人の皆さんは、震災後、平成24年1月にいわき市でダルマ市を開催しました。そのストーリーをこれまで新聞やテレビ等で目にしてきました。昨年からは双葉町内でダルマ市を開催できるようになり、いわき市では今年が最後とのこと、今年の「ふたばダルマ市inなこそ」の会場内では何度も「最後のダルマ市」と聞き、前向きなことであるとわかっていても、寂しく感じました。会場には地元のおいなり市の方も多く来ていました。

3月11日には、町内で追悼関連の行事が行われます。町産業交流センターでは、1階エントランスで3月10、11日の2日間追悼の気持ちを込めた花絵(インフィオラータ)の展示があります。また、3月1日から31日まで、震災前の双葉町や、現在の復興が少しずつ進んでいる様子が分かる写真展も行います。懐かしい写真が展示されますので、ぜひ立ち寄っていただきたいと思えます。

連絡先

- **双葉町役場 本庁舎**
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **いわき支所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **南相馬連絡所** (午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所** (月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

○ **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○ **双葉町産業交流センター
公式ホームページ**
<https://www.f-bicc.jp/>



○ **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○ **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>